



中央区支え合いのまち 推進協議会だより

第22号
平成30年3月22日
編集/発行
中央区地域福祉計画
推進協議会事務局
電話：043-221-2150

みんなでつくろう、支え合い安心して暮らせる中央区

第3期中央区支え合いのまち推進計画の総括

平成27年度から3年の計画で開始された第3期中央区支え合いのまち推進計画（以下、「計画」という）も平成29年度で終了となりました。

本計画では、7つの基本方針に基づき、21項目の具体的な取組によって、「支え合い安心して暮らせる中央区」を作り上げるべく計画を推進してきました。

計画の特徴は、各地区部会が21の具体的な取組の中から、重点取組項目を選定、各年度ごとに目標を設定して、地区部会が中心となり計画を実施していくという試みが初めて採られました。中央区では、16地区部会で、延べ62項目の重点取組項目が設定され、地区部会エリア内で、様々な団体や関係機関とも連携を図りながら、計画を実施しました。

計画期間内における、各年度の目標に対する取組の達成状況は、下表のとおりで、各年度のSとAの評価の割合は、平成27年度が85.4%、平成28年度が96.7%、平成29年度が95.1%となり、計画は順調に推進することができたものと思われます。

評価（達成割合）	H27	H28	H29
S：目標を上回った項目	1件	3件	3件
A：概ね目標を達成した項目（8割～10割）	52件	57件	56件
B：一部目標を達成した項目（5割～7割）	9件	2件	3件
C：大きく目標を下回った項目（～4割）	—	—	—

その一方、①担い手不足、②町内自治会（役員の交代）・関係団体との連携、③活動拠点の確保、④継続的な活動資金といった計画を推進していく上での課題も見えてきています。

中央区支え合いのまち推進協議会だよりは、町内自治会を通じて回覧します。

町内自治会に加入されていない集合住宅等については、お申し出いただければ管理組合代表者等へ郵送いたします。（各戸への配布はいたしません。）

また、保健福祉センター、区役所、公民館、市民センター等でも閲覧できます。

ご希望の際は、下記までご連絡ください。

【問い合わせ】中央区地域福祉計画推進協議会事務局 電話：043（221）2150





中央区内の地域福祉活動の紹介



平成29年度に開始された地区部会エリアでの新たな取組をご紹介します

末広地区部会エリア～地域で生まれるお互いさまのお付き合い～

当該エリアは末広中学校区で、長洲一丁目自治会、長洲二丁目町内会、末広町内会、千葉寺青葉町自治会の4自治会からなる地域です。高齢化率は20.6%（平成28年3月末現在）と他の地域に比べ低い地域ではありますが、今後、高齢者が増え高齢化率も高くなり、地域での住民相互の支え合いが必要になってくるとのことから、千葉寺青葉町自治会において、地域支え合い活動が開始されました。

自治会、民生委員児童委員、福祉活動推進員の17名体制で同自治会エリアの75歳以上の独居・高齢者世帯、障害者の方を対象に活動を行っています。活動内容については、庭の草取り、枝落とし、ゴミ出し、買い物や散歩の付き添い等の外出補助、話し相手等です。昨年の7月から開始された活動ですが、2月末現在、101件もの依頼があり、話し相手、外出補助、枝切りの依頼が多いそうです。こうした活動により、地域が繋がりとともに、一人一人が地域の一員であるという実感も持てるようになり、地域の絆づくりにも繋がっていきます。



松ヶ丘地区部会エリア～認知症徘徊声かけ訓練～

松ヶ丘地区において、松ヶ丘中学校区地域運営委員会主催のもと10月10日（火）に『認知症徘徊声かけ訓練』が行われました。この訓練は、認知症の方が行方不明になり、実際に地域住民の方が発見した場合にどのように声をかけたり、接したらよいのかということを体験する取り組みです。

当日は、認知症役の方が地域内7ヶ所の訓練エリアを徘徊し、地域住民や松ヶ丘中学校の生徒さんが、声かけを行いました。

今後もこの取り組みを継続していき、認知症への理解を深めて行くとともに、地域における『見守りの目』を増やしていき、地域の福祉力を高めていくための良いきっかけとなりました。

